

かがわ里海づくりパートナー活動報告

2025年 8月 8日

香川県知事 殿

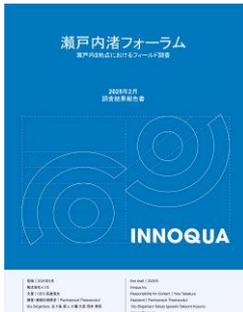
所在地 香川県三豊市詫間町詫間2112-168  
名称 大成生コン株式会社  
代表者職・氏名 代表取締役 三宅淳也

かがわ里海づくりパートナー登録制度実施要綱第10条の規定により、年間の活動状況について報告します。

主な里海づくり活動内容	参加人数
<p>環境移送技術※1を起点に、新しい藻場の保全を実現するためのディープテックの開発や、海藻・海草から人間にとって価値のある成分などを抽出するための研究開発、藻場の持つ価値を現地の方に知ってもらう普及啓蒙を行うことで、磯焼けの根本的解決を目指す「瀬戸内渚フォーラム」の立ち上げに協力し、企業として参画した。</p> <p><a href="https://setouchi.nagisa.innoqua.jp/">https://setouchi.nagisa.innoqua.jp/</a></p> <p>※1 水槽の中に海の環境を再現し、どこでも誰でも海の定量的なデータを取得することができる独自技術</p> <div data-bbox="199 1541 735 1800"></div> <p data-bbox="268 1823 612 1861">瀬戸内渚フォーラム HP</p> <div data-bbox="778 1503 1270 1800"></div> <p data-bbox="911 1823 1112 1861">環境移送技術</p>	24 団体

2025. 0222～0223

瀬戸内渚フォーラムにおいて瀬戸内海3か所「三豊」「三原」「胸上」の海洋環境の調査を実施。大成生コン株式会社は参画企業として、調査チームと地域（三豊市漁協）の橋渡し及び潜水撮影や潜水作業を担当。調査内容は報告書とし有している。



報告書



アマモ株密度調査



栄養塩調査

2025. 0420～0422

2回目の瀬戸内渚フォーラム調査を実施。三豊市の蔦島周辺のアマモ場を中心に、海洋生態系や海水の各種パラメーターを科学的に分析した。この場所は三豊市漁協がアマモの種子散布や施肥を実施している場所であり、種子散布後の生育状況の推移を見極めるうえでも、瀬戸内渚フォーラムの調査が有効に活用された。※本フォーラムの調査報告書は三豊市漁協へ提供。



底質調査（コアサンプリング）



調査フィールド（仁尾町沖）

2025. 0628～0630

瀬戸内渚フォーラム第3回目の調査を実施した。三豊市の蔦島周辺の定点観測を実施してきたが、今年の高藻・海藻の生育状況が好転している状況を確認することができた。これは黒潮の大蛇行が収束したことが影響しているものと思われるが、栄養塩などの物理的なパラメーターの変

化などに合わせて、三豊市の海目線で何が起きているのか解析し公開していく予定だ。



三豊市蔦島のアマモ場



調査の様子